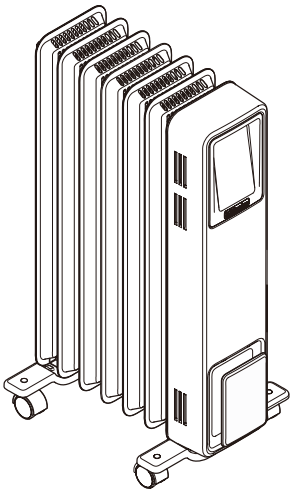




取扱説明書 (保証書付)

オイルフリーヒーター-B04(白),(黒),(グレー)

型番：ECR12E / ECR12EB / ECR12ECSE



【初めてご使用に際して】

<■白煙がでることがあります>

初めてお使いになる場合には、“製品組み付け時に残存していた揮発成分が加熱されて揮発する”ことや、“ヒーター部などに付着した細かなホコリや湿気が加熱されて舞う”ことがあります。

このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。

<■においがでることがあります>

初めてお使いになる場合や長時間使用していなかった場合は、ホコリや湿気においがでる場合があります。1日程度のご使用で解消します。

このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。

ご使用の前に

この製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。

お読みになった後はいつでも参照できるように、大切に保管してください。



取扱説明書の最終ページには、保証書が付いております。

もくじ




- 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 各部のなまえ、設置場所と取扱について・・・・ 3
- ご使用前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 運転のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 安全装置、お手入れのしかた・・・・・・・・・・ 8
- 保管のしかた、電源コードの点検、故障診断・・ 9
- アフターサービス、仕様・・・・・・・・・・ 10
- 保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

【安全上のご注意】

- この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するための重要な情報です。記載事項（図記号等による表示）を必ずお守りください。
- 注意事項は誤った取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」と「注意」に区分しています。

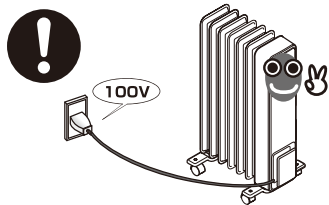
 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例

 高温注意	△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。	 分解禁止	○の記号は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。	 電源プラグをコンセントから抜く	●の記号は、しなければならない行為を示しています。
---	--------------------------------	---	-------------------------------	--	---------------------------

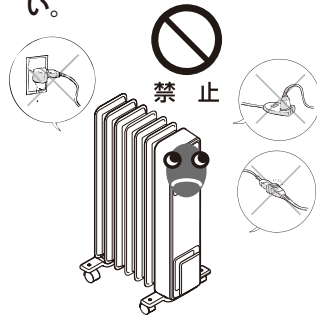
警告

- 電源は、100Vの壁コンセントに電源プラグを直接差し込んでください。



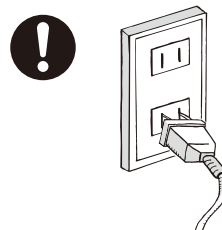
200Vに接続すると、発火のおそれがあります。また、タイマーや他機器と連動するような配線を行うと、意図しない暖房運転が開始され大変危険です。

- 延長コードやマルチタップは絶対に使用しないでください。



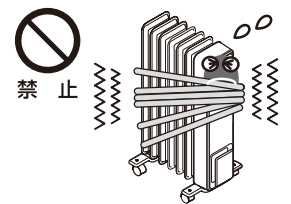
コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。

- 電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。また、差込口のゆるいコンセントは使わないでください。



過熱により発火するおそれがあります。

- 電源コードを本体に巻きつけたり掛けたりしないでください。



熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

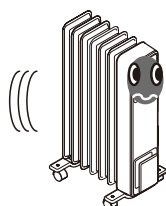
- この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していません。

- この機器で遊ぶことがないように子供を監視することが望ましいです。

- 泥酔などで正常な判断ができない状態の方や操作に不慣れな方は、操作を行わないでください。また、幼児が操作をできない場所に設置ください。必ず操作方法や危険を理解した方が操作してください。



禁止

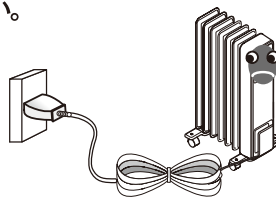


やけど・感電・けがの原因になります。

- コンセントが近くにあってコードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。



禁止

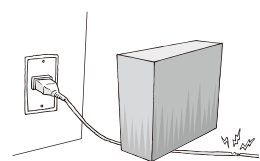


コードの放熱ができず、過熱・発火の原因となります。

- コードに重い物をのせたり、機器にはさまないでください。またコードを傷付けたりしないでください。



禁止

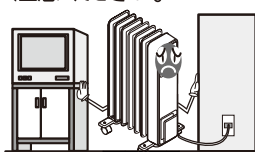


発火の原因となります。

- 本体の上・前後・左右に十分な空間を設けて設置してください。特に、カーテン・コンセント・壁・家具・家電製品等にはご注意ください。



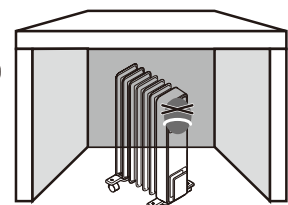
火災・変形・変色・故障等の原因となります。



- 押入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。



禁止

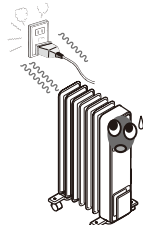


故障や熱変形等の原因になります。

■コンセントのすぐ下では使用しないでください。



禁止



熱で電源コードを傷め、火災の原因となります。

■カーテン、布団や洗濯物などの可燃物の近くで使わないでください。また、可燃物を掛けないでください。



覆い掛け禁止

ヒーターには「覆ってはならない」ことを示す警告表示がされています。

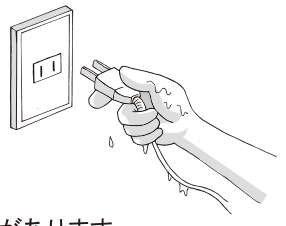


過熱により火災につながる恐れがあります。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行なわないでください。



ぬれ手禁止



感電のおそれがあります。

■犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。



禁止

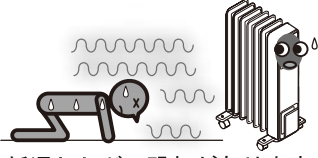


歯や爪で電源コードを傷付けたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因となります。

■就寝するなど、長時間にわたってヒーターの直前に居ることのないようにしてください。



禁止

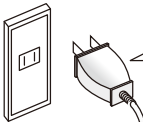


熱中症や低温ヤケドの恐れがあります。幼児や泥酔された方には特に注意してください。

■シーズンオフや長時間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。また、プラグとコンセントの表面に汚れがあれば除去してください。



電源プラグをコンセントから抜く



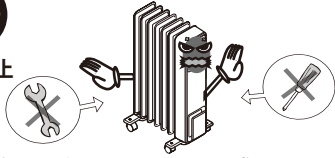
Cleaning

トラッキングによる発火や意図せぬ通電を防止するためです。トラッキングとはプラグの二つの刃の間に汚れ、湿気などによりショートすることです。

■修理技術者以外の方は、分解・修理を行わないでください。



分解禁止



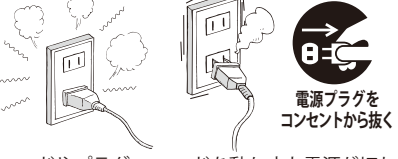
誤った修理を行うと、発火や感電のおそれがあります。

※電源コードが破損した場合は、コード交換や修理は危険防止のために製造者もしくは専門業者に依頼すること。

■電源コードが傷ついたり、次のような場合には直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理の依頼等を行ってください。



禁止

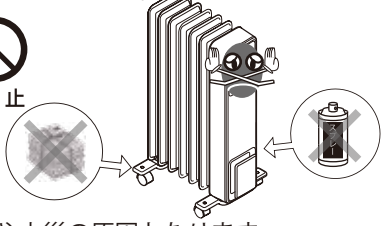


コードやプラグが熱い。コードを動かすと電源が切れる。(または、電源が入る。) 使用し続けると発火の恐れがあります。

■スプレー缶などの缶や薬品、油、紙類などを本体の近くに置かないでください。また、本体の上に物を置かないでください。



禁止



爆発や火災の原因となります。

⚠ 注意

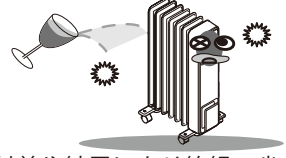
■操作部、コードまたはプラグに水やお茶などの液体をこぼさないでください。また、水やその他の液体に浸漬(水没)させないでください。

■浴槽、シャワー及び水泳プールの周辺部で、このヒーターを使用しないでください。

■水のかかるおそれのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。



水ぬれ禁止



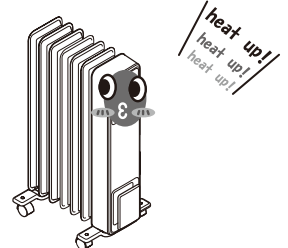
内部部品への水滴の付着や結露により絶縁の劣化をもたらし、火災・感電・故障の原因となります。

■本体は高温になります。使用中は手で触れないでください。



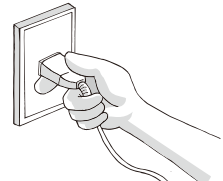
高温注意

DON'T TOUCH ME!!



幼児が触らないよう、注意願います。お手入れの際には十分に冷えるまで触らないでください。

■電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。

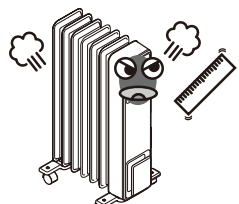


コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火の原因となります。

■穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの異物をいれしないでください。

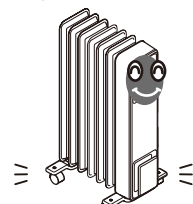


禁止



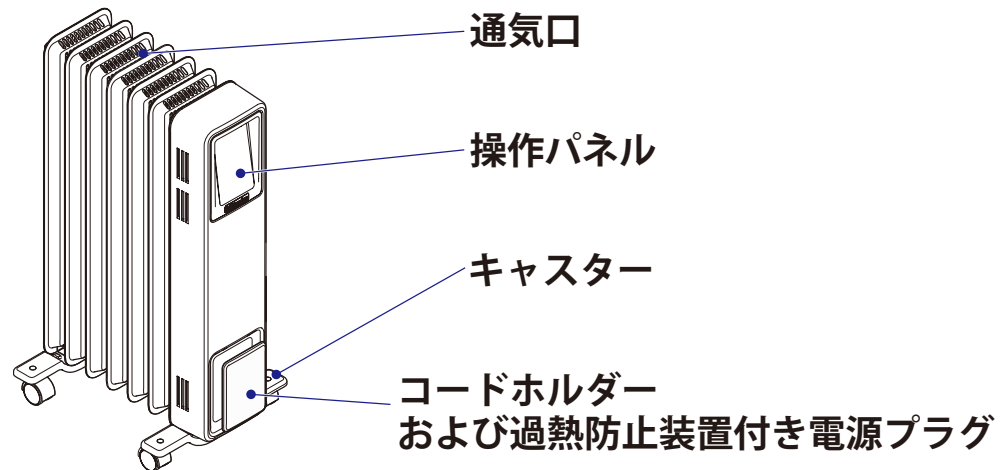
火災・感電・故障・やけどの原因となります。

■据付は、水平で平らな場所に正しく置いてください。



倒れるとケガをするおそれがあります。倒して使用すると火災の原因となります。

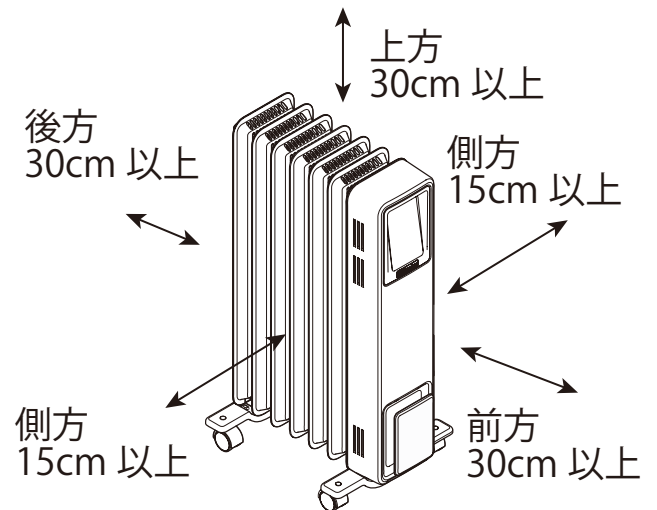
各部のなまえ



設置場所と取扱について

ヒーターを適切な場所に設置してください。

- 平らで安定した場所に設置してください。
- 可燃物から右図の寸法を離してお使いください。
- 棚の下などのように奥まった場所には設置しないでください。
- このヒーターは家庭用（屋内専用）です。屋外で使用しないでください。
- このヒーターは屋内の生活空間でご使用ください。（使用温度範囲0～35℃）
- ろうそくなどの炎が出ているものをヒーターの上に置いたり、近づけたりしないでください。
- ヒーターと電源コンセントはいつでも簡単に手の届くところでご使用ください。

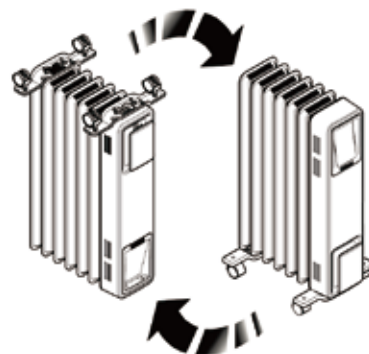
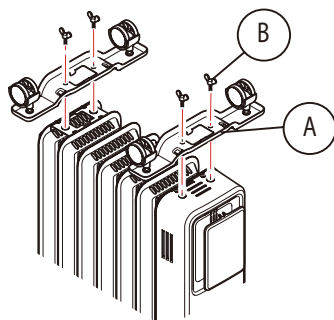


ご使用前の準備

- ※ 電源プラグを抜いた状態で作業してください。
- ※ ご使用前にキャスターを必ず取り付けてください。

■キャスターの取り付け

- ① カーペットなど傷がつかない場所で、本体を逆さまにしてください。
- ② 下の絵を参考に、キャスター（A）を蝶ビス（B）で取り付けてください。
- ③ 元の状態に戻していただくと、ご使用前の準備は完了です。



運転のしかた

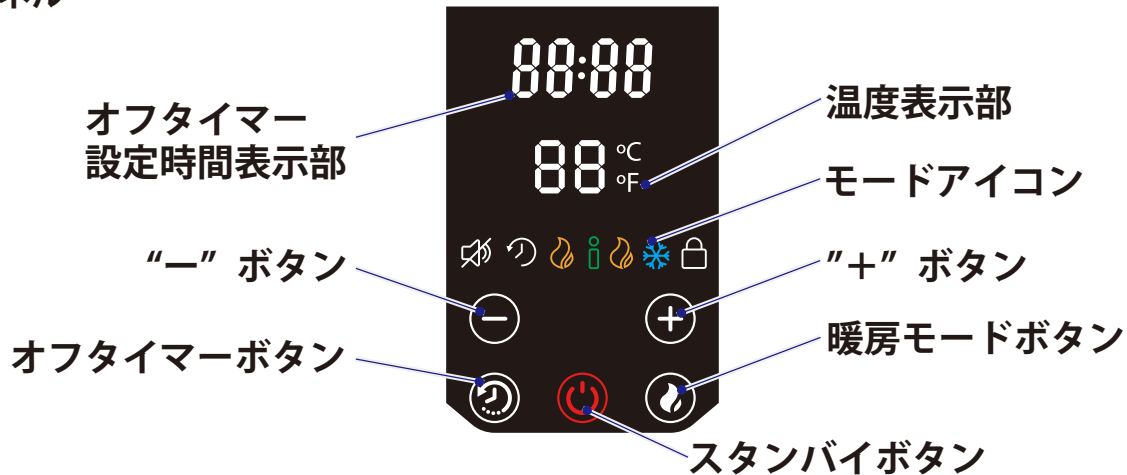
※運転する前に、吸込口にホコリが付着していないことを確認してください。

電源接続

■電源プラグを 100V コンセントにしっかりと差し込みます。ビープ音が聞こえ、操作パネル上の全項目が一度点灯した後に消灯し、スタンバイボタンのみが赤く点灯します。

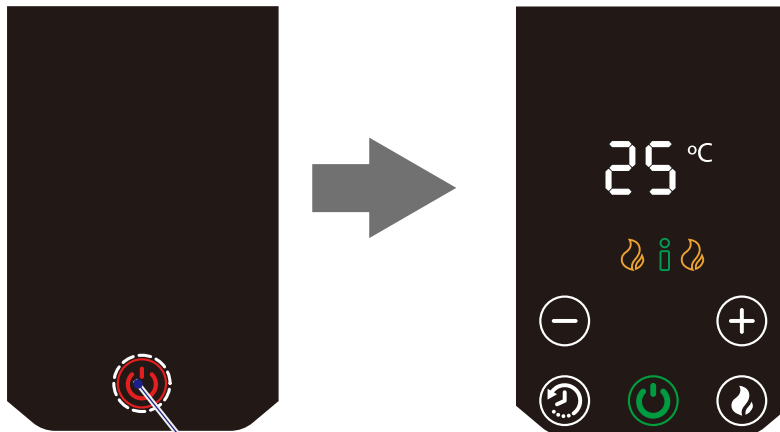
ご注意：延長コードやマルチタップは絶対に使用せず、壁コンセントをご使用ください。

操作パネル



電源の投入

■スタンバイボタンを押すと電源が入り、色が緑色に変わります。その他の操作ボタンやモードアイコンが、パネル上に表示されます。



スタンバイボタンを押して、電源を入れます。

※ボタン操作が 10 秒間以上行われないと、操作パネルはスリープモードに入ります。スタンバイボタンの明るさは半減し、同時にこれ以外のボタンの表示が消えます。

再度操作パネルに触れると、ボタン表示は復帰します。



■長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

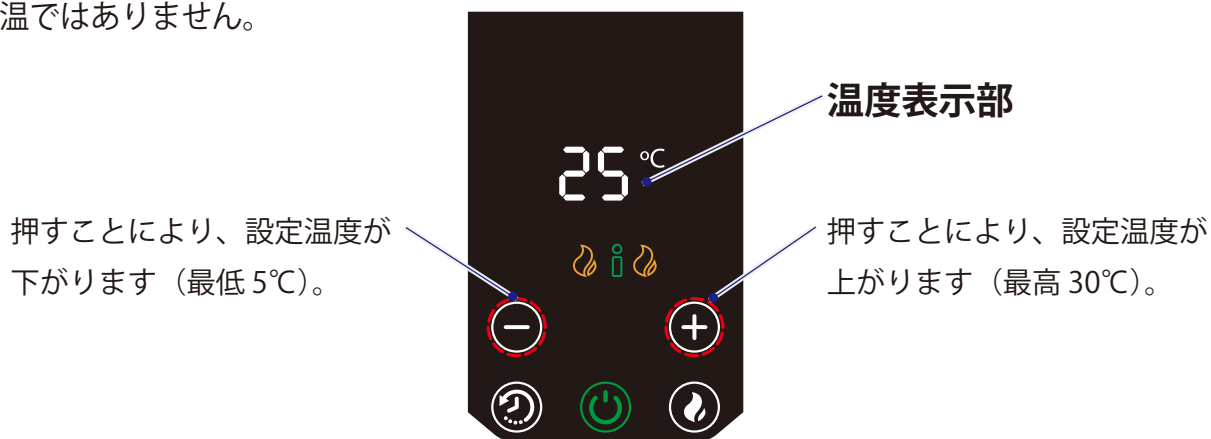
■コードホルダーに電源コードを巻きつけた状態で使用しないでください。必ずコードホルダーから電源コードを外してご使用ください。

運転のしかた（続き）

温度設定

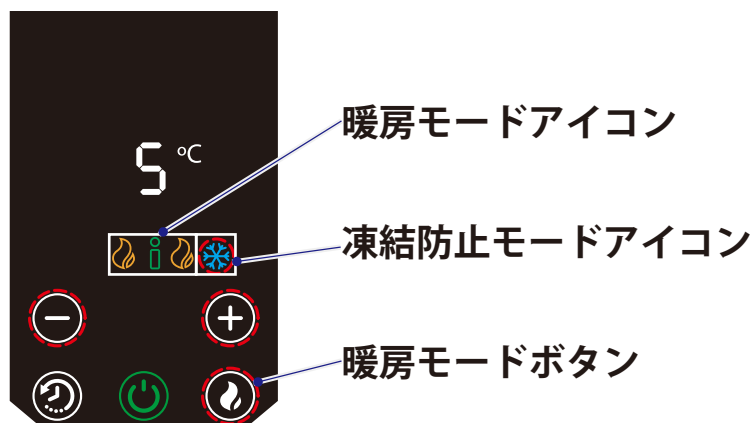
温度設定は、操作パネル上の“+” ボタン（上げる）あるいは“-” ボタン（下げる）を押すことにより行うことができます。設定範囲は、5℃から 30℃の間です。

こちらに表示されている値は、希望する暖房設定温度を意味しています。設置場所における実際の室温ではありません。

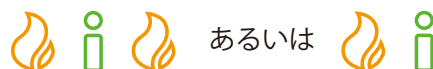


暖房モード

操作パネル右下の「暖房モードボタン」を押すことにより、暖房モードを切り替えることができます。ボタンを押すたびに、3種類の暖房モードに順番に切り替わります。



■ インテリジェント暖房モード：



このモードでは、ヒーターは自動的に「強運転モード」と「弱運転モード」を行き来しながら、暖房効率と電力消費の最適化を図り、室温を制御します。“+” ボタンおよび“-” ボタンを押すことにより、いつでも設定温度をお好みの値に調整することができます。

■ 強運転モード：



このモードでは、ヒーターは最大の出力で暖房を行いながら、設定温度に合わせるように室温を自動制御します。室温が特に低い場合は、こちらのモードをご使用ください。“+” ボタンおよび“-” ボタンを押すことにより、いつでも設定温度をお好みの値に調整することができます。

■ 弱運転モード：



このモードでは、ヒーターは出力を落とした状態で暖房を行いながら、設定温度に合わせるように室温を自動制御します。室温がそれほど低くない場合は、こちらのモードをご使用ください。“+” ボタンおよび“-” ボタンを押すことにより、いつでも設定温度をお好みの値に調整することができます。

※ 設定した温度が室温よりも低い場合、暖房機能は停止します。この時、温度表示部が点滅します。室温が設定温度よりも下がった場合、あるいは“+” ボタンを操作して設定温度を上げた場合、温度表示部は点灯状態となり暖房が動作します。

運転のしかた（続き）

凍結防止モード

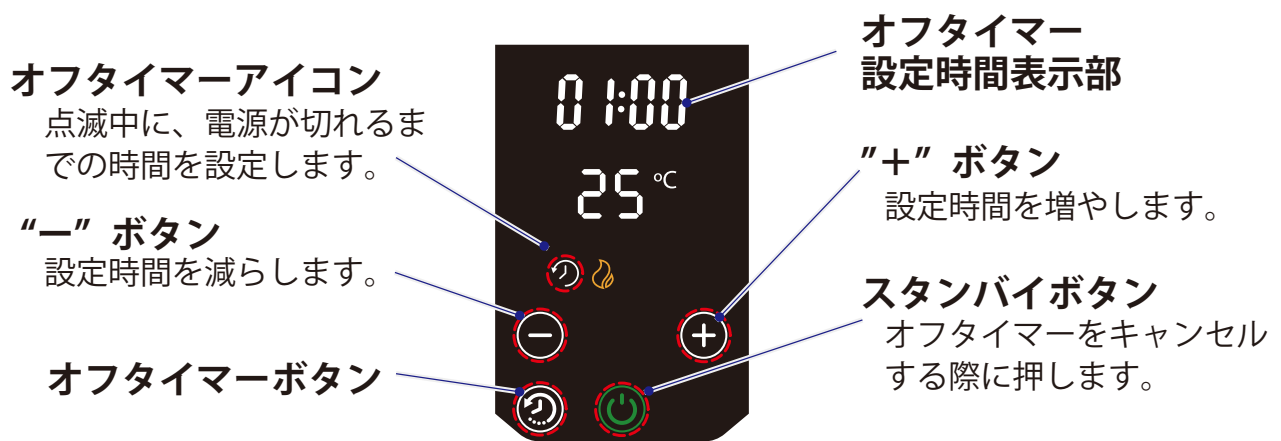


本ヒーターは、凍結防止モードを備えています。この機能は、低温になる車庫の中に設置した場合などで、凍結による本体の損傷を防ぐために使用します。

- ①設定温度を最低温度である 5℃にすると、ヒーターは温度をおよそ 5℃に保つように入/切を繰り返します。
- ②凍結防止モードに入ると、凍結防止モードアイコンが操作パネル上に表示されます。

オフタイマー

本ヒーターは、オフタイマー機能を備えています。ヒーターが動作している状態から 1 時間刻みで最大 12 時間後に、本体の電源を自動的に切ることができます。



- ①オフタイマーボタンを押すと、オフタイマーアイコンが点滅を始めます（最大 6 秒間）。アイコンの点滅中に“+” ボタンあるいは“-” ボタンを押して、電源が切れる時間を設定します。アイコンが点灯状態になると、オフタイマーが動作を開始します。
オフタイマー時間の設定時にオフタイマーボタンを押すと、“+” ボタンと同様に時間を増やすことができます。
- ②現時点から設定された時間が経過した後（「05:00」の場合はおよそ 5 時間後）、本体の電源は切れ、スタンバイモード状態になります。設定された時間は、ゼロにリセットされます。
- ③オフタイマーが動作している状態（オフタイマーアイコン点灯中）に“+” ボタンあるいは“-” ボタンを押すと、設定温度を調節することができます。
- ④オフタイマーの残り時間は、オフタイマー設定時間表示部に分単位で表示されます。
- ⑤オフタイマーの動作中にタイマーの時間を変更するには、再度オフタイマーボタンを押します。オフタイマーアイコンが点滅し、“+” ボタンあるいは“-” ボタンで時間を変更することができます。操作をしないまま 6 秒間放置すると、再びオフタイマー動作状態になります。
- ⑥オフタイマーをキャンセルするには、オフタイマーボタンを押しオフタイマーアイコンを点滅させた状態で、時間設定をゼロにします。あるいは、スタンバイボタンを押して電源を切っても、オフタイマーはキャンセルされます。

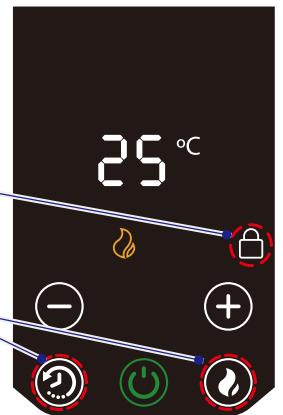
運転のしかた（続き）

チャイルドロック

チャイルドロック機能を使用することにより、一時的に操作パネルからの操作を行えなくすることができます。

チャイルドロックアイコンが表示されます。

オフタイマーボタンと暖房モードボタンを、同時に4秒間以上長押しします。



- ①オフタイマーボタンと暖房モードボタンを、同時に4秒間以上長押しします。操作パネル上にチャイルドロックアイコンが表示され、スタンバイボタン以外のパネル操作を受け付けなくなります。
- ②チャイルドロックを解除するには、再びオフタイマーボタンと暖房モードボタンを、同時に4秒間以上長押しします。チャイルドロックアイコンが消灯します。

ビープ音の入／切

ヒーターの操作を行うたびに、ビープ音が鳴ります。この音を出さないように設定することができます。

ビープ音切アイコンが表示されます。

オフタイマーボタンと“-” ボタンを、同時に4秒間以上長押しします。



- ①オフタイマーボタンと“-” ボタンを、同時に4秒間以上長押しします。操作パネル上にビープ音切アイコンが表示され、ビープ音が出なくなります。
- ②ビープ音が出るようにするには、再びオフタイマーボタンと“-” ボタンを同時に4秒間以上長押しします。ビープ音切アイコンが消灯します。

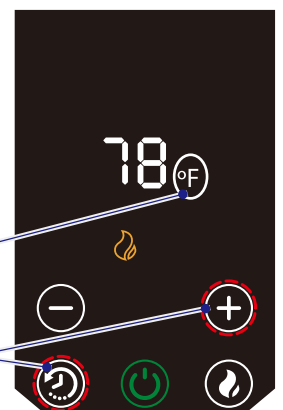
温度単位切り替え

温度の単位を摂氏（°C）あるいは華氏（°F）に切り替えることができます。

- ①オフタイマーボタンと“+” ボタンを、同時に4秒間以上長押しします。温度単位が摂氏（°C）あるいは華氏（°F）に切り替わります。

温度単位が切り替わります。

オフタイマーボタンと“+” ボタンを、同時に4秒間以上長押しします。



安全装置

転倒時電源遮断装置

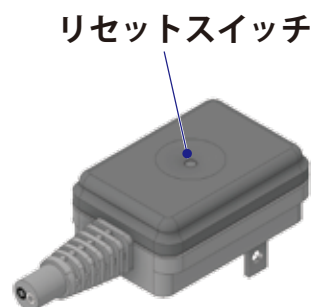
- ヒーターが倒れた場合、内部の転倒時電源遮断装置が作動してヒーター運転が停止します。ヒーターを起こすと、再度ヒーター運転が可能となります。

温度過昇防止装置

- 吸込口や吹出口が覆われるなどして本体内部が過熱した場合、温度過昇防止装置が作動してヒーター出力が低下、あるいはヒーター運転が自動停止します。過熱原因を取り除き、電源コードを抜いてヒーターを十分冷ましてから再び電源コードを差し、ヒーター運転を再開します。

過熱防止装置付き電源プラグ

- ヒーターの稼働中に万一電源プラグが加熱した場合、内蔵された安全装置が熱を感知し、電源を自動的に切ります。電源プラグの過熱の原因として、コンセントへの差し込みが不十分、電源プラグの差し刃やコードの変形・劣化、コンセントのゆるみや劣化などが考えられます。解除するには、電源プラグをコンセントから抜き、十分に冷ましてからプラグ背面中央のリセットスイッチをペンなどの細いものを使って「カチッ」と手応えがあるまで押し込みます。



⚠ 切断動作を繰り返す場合、コンセントやプラグの不良が考えられます。ご使用をおやめください。

お手入れのしかた

1. 電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷えてからお手入れを行ってください。
2. 吸込口は定期的に掃除機等でホコリを取り除いてください。
3. 吸込口の定期的なホコリ除去以外にメンテナンスを殆ど必要としませんが、汚れをとりたい場合は乾いた布やブラシを使用してください。
4. 汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用してください。
5. クレンザー・シンナー等は表面を傷つけます。
6. 吹出口や周辺部には絶対に水がつかないように注意してください。
7. 長時間使用しない場合は、ホコリや汚れから保護してください。

保管のしかた

1. ホコリが入らないように、ポリ袋のカバーなどをお使いください。
2. ホコリの少ない、乾燥した場所で保管してください。

電源コードの点検

1. 定期的に被覆の破れがないかなどの電源コードの安全点検を行ってください。
2. 下記の症状の場合には使用を中止してください。発火の恐れがあります。
 - ①電源コードが熱い。
 - ②電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする。
3. 修理は必ず販売店またはお客様相談窓口へ依頼してください。
誤った修理は火災につながります。

故障診断

症 状	点検・原因	処 置
電源が入らない	プラグの外れ ブレーカー落ち 過熱防止装置付き電源プラグの作動	正しく差し込む 原因を調べてから復旧させる リセット操作（8ページを参照）
部屋の暖まり方が不十分	カーテンや家具等で空気の流れが 阻害されていないか 部屋が大き過ぎる すきま風 室温設定が低い	障害物を取り除く 置き場所の変更 補助暖房を追加 すきま風の防止 室温設定を上げる
異臭がする	初めて使用される際に、 ニオイを感じることもある	1日程度の使用で解消する
電源プラグの過熱	プラグの異常	使用中止（販売店またはお客様相談 窓口へご連絡下さい）
	コンセントの異常	コンセントの修理
電源プラグの過熱 コードを動かすと電源 が入／切する	電源コードの半断線	使用中止（販売店またはお客様相談 窓口へご連絡下さい）
ブレーカーが働く	契約電流以上の電気を使用	接続機器を減らす 契約電流を増やす

上記のことを調べても原因がわからない場合には、販売店又お客様相談窓口へご連絡ください。
電源コードが破損した場合は、お客様相談窓口もしくは販売店へご連絡ください。
不適切な処置は、発火の原因となります。

アフターサービス

1. 製品の使用中に異常が生じた場合には、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店様もしくはお客様相談窓口へご相談ください。
2. 保証期間内の修理につきましては、保証書に記載された規定に基き、無料で行います。
3. 保証期間経過後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合にのみ、お客様のご要望により有料で修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
5. 販売店様もしくはお客様相談窓口へご相談をされる場合には、下記の内容をご連絡ください。
 - ①製品名、型番
 - ②症状（まず取扱説明書の「故障診断」をご確認ください。）
 - ③お買上年月日（保証修理をお受けになる場合は、ご購入元および購入日がわかる資料が必要です。[販売店様の印やサイン、シール、あるいはご購入を証明するレシートなど。]
 - ④お客様のお名前、ご住所、電話番号

お客様ご相談窓口



TEL 0120-583-570

FAX 0295-55-8523

株式会社 バーグマン 【受付時間：平日9：00～17：00】

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

株式会社 バーグマンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通りお取り扱いいたします。

- ①個人情報を、本製品に関するご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す場合がございます。修理やその確認業務を協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
- ②個人情報を、適切に管理いたします。
- ③個人情報に関するお問い合わせは、「お客様ご相談窓口」にて受け付けいたします。

仕様

製品名	オイルフリーヒーター B04		
	白	黒	グレー
型番	ECR12E	ECR12EB	ECR12ECSF
電源	100V 50/60Hz		
消費電力	1200W		
外形寸法	幅413mm x 高さ629mm x 奥行き281mm		
製品質量	約9kg		
安全装置	転倒時電源遮断装置、温度過昇防止装置		
暖房目安※	8～10畳		

※暖房目安は「次世代省エネルギー基準（H11年）、暖房目安Q値3.7[W/m²K]（IV地域相当）、室内外気温差20-25K」を目安としています。